

予算委員会

委員一覧 (45名)

委員長	末松	信介 (自民)	古庄	玄知 (自民)	福島	みずほ (立憲)
理事	足立	敏之 (自民)	島村	大 (自民)	村田	享子 (立憲)
理事	大野	泰正 (自民)	中田	宏 (自民)	塩田	博昭 (公明)
理事	片山	さつき (自民)	長谷川	岳 (自民)	宮崎	勝 (公明)
理事	高橋	はるみ (自民)	広瀬	めぐみ (自民)	山本	香苗 (公明)
理事	藤川	政人 (自民)	船橋	利実 (自民)	若松	謙維 (公明)
理事	石橋	通宏 (立憲)	堀井	巖 (自民)	青島	健太 (維新)
理事	杉尾	秀哉 (立憲)	松川	るい (自民)	音喜多	駿 (維新)
理事	矢倉	克夫 (公明)	松下	新平 (自民)	串田	誠一 (維新)
理事	片山	大介 (維新)	山田	俊男 (自民)	磯崎	哲史 (民主)
	朝日	健太郎 (自民)	若林	洋平 (自民)	嘉田	由紀子 (民主)
	有村	治子 (自民)	石垣	のりこ (立憲)	田村	智子 (共産)
	猪口	邦子 (自民)	古賀	千景 (立憲)	山添	拓 (共産)
	臼井	正一 (自民)	塩村	あやか (立憲)	山本	太郎 (れ新)
	小林	一大 (自民)	辻元	清美 (立憲)	浜田	聡 (N党)

(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第210回国会において、本委員会に付託された案件は、令和四年度第2次補正予算2案であり、いずれも可決した。また、予算の執行状況に関する調査を行った。

なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

令和四年度補正予算2案(第2号及び特第2号)は、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(令和4年10月28日閣議決定)を実施するために必要な経費の追加等を行う一方、租税及印紙収入等の増収を見込むとともに、前年度剰余金の受入や公債金の増額を行うものである。補正予算2案は、11月21日国会に提出され、12月2日に成立した。

委員会では、11月22日に財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院からの送付の後、30日から質疑に入り、12月2日には外交等現下の諸課題に関する集中審議及び締めくくり質疑を行い、討論の後に採決の結果、補正予算2案は可決された。

委員会の質疑においては、総合経済対策の意義と効果、コロナ後の財政政策の在り方、前年度決算を踏まえた予算審議の必要性、コロナ対策に係る予算措置の妥当性、子供予算の充実に係る対応方針、賃金の動向に対する政府の現状認識、日銀の財務状況の健全性、日中首脳会談等を踏まえた今後の外交政策、防衛力強化に関する政府の方針、今後のエネルギー政策の在り方、酪農業の現況と支援充実の必要性、漁業支援も含めた福島復興の取組、旧統一教会被害者救済法案の実効性、閣僚等の任命責任等の問題が取り上げられた。

〔国政調査〕

予算の執行状況に関する調査を議題として、以下のとおり、委員会が開かれた。

まず、岸田内閣総理大臣の所信表明演説に対する本会議での各党代表質問の後、10月19日、20日の2日間、質疑が行われた。

質疑においては、宗教法人の解散命令に係る宗教法人法第81条第1項の解釈、故安倍晋三国葬儀実施の決定過程、ヘイトクライム被害の受け止め、拉致問題早期解決のための取組、旧統一教会問題における被害者救済の取組、G7・G20財務相・中央銀行総裁会議の成果及び足下の円安への対応策、歯科医療提供体制の整備の重要性、エネルギー価格高騰対策及び子育て支援を含む総合経済対策の在り方、靈感商法等の社会問題に対する「見守りネットワーク」活用の促進、宗教法人に対する是正命令を可能とする法改正の必要性、インバウンド受入再開とマスク着用継続の整合性、マイナンバーカードと健康保険証一体化の政策目標、トリガー条項凍結解除及び再エネ賦課金徴収一時停止の必要性、故安倍晋三国葬儀実施の合憲性、障害者に対する合理的配慮の在り方、NHK受信料の全国一律化及び徴収手続の見直し等の問題が取り上げられた。

また10月24日、現下の諸課題に関する集中審議が行われた。質疑においては、電気・ガス料金高騰に対する支援の在り方、円安の国民生活への影響及び金融緩和政策継続の妥当性、旧統一教会への解散命令請求の要件に係る総理の認識、無償化の拡大による税への信頼感向上に係る総理の所見、企業の外貨建て内部留保を活用した国内投資促進策、円安の短期的・長期的な要因、原発再稼働を含む原発政策の是非、コロナ下における障害者入院時の介護者付添いに係る政府対応の改善策、SNS等を通じて政治家が情報発信することの重要性等の問題が取り上げられた。

（２）委員会経過

○令和4年10月19日（水）（第1回）

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について岸田内閣総理大臣、谷国家公安委員会委員長、永岡文部科学大臣、桒梨法務大臣、山際国務大臣、松野内閣官房長官、加藤厚生労働大臣、秋葉国務大臣、高市国務大臣、林外務大臣、寺田国務大臣、河野国務大臣、小倉国務大臣、浜田防衛大臣、西村経済産業大臣、斉藤国土交通大臣、野村農林水産大臣、鈴木財務大臣、岡田国務大臣、西村環境大臣、川崎参議院法制局長、政府参考人及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

小西洋之君（立憲）、辻元清美君（立憲）、打越さく良君（立憲）、杉尾秀哉君（立憲）、松山政司君（自民）、石井正弘君（自民）、比嘉奈津美君（自民）

○令和4年10月20日（木）（第2回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について岸田内閣総理大臣、鈴木財務大臣、加藤厚生労働大臣、野村農

林水産大臣、斉藤国土交通大臣、林外務大臣、河野国務大臣、葉梨法務大臣、小倉国務大臣、永岡文部科学大臣、山際国務大臣、寺田総務大臣、西村経済産業大臣、西村環境大臣、岡田国務大臣、松野内閣官房長官、浜田防衛大臣、井野防衛副大臣、山中原子力規制委員会委員長、近藤内閣法制局長官、政府参考人及び参考人杏林大学保健学部作業療法学科教授長谷川利夫君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

谷合正明君（公明）、佐々木さやか君（公明）、音喜多駿君（維新）、猪瀬直樹君（維新）、片山大介君（維新）、浜口誠君（民主）、山添拓君（共産）、天畠大輔君（れ新）、浜田聡君（N党）

○令和4年10月24日（月）（第3回）

— 集中審議（現下の諸課題） —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、現下の諸課題に関する件について岸田内閣総理大臣、谷国務大臣、山際国務大臣、秋葉国務大臣、鈴木財務大臣、寺田総務大臣、加藤厚生労働大臣、葉梨法務大臣、小倉国務大臣、西村経済産業大臣、井出文部科学副大臣、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君及び全国靈感商法対策弁護士連絡会・東京共同法律事務所弁護士木村壮君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

高野光二郎君（自民）、川田龍平君（立憲）、田島麻衣子君（立憲）、矢倉克夫君（公明）、金子道仁君（維新）、嘉田由紀子君（民主）、岩渕友君（共産）、木村英子君（れ新）、浜田聡君（N党）

○令和4年11月22日（火）（第4回）

- 令和四年度一般会計補正予算（第2号）（予）
令和四年度特別会計補正予算（特第2号）（予）

以上両案について鈴木財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和4年11月30日（水）（第5回）

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和四年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）
令和四年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）

以上両案について岸田内閣総理大臣、秋葉国務大臣、松野内閣官房長官、西村（明）国務大臣、谷国家公安委員会委員長、齋藤法務大臣、浜田防衛大臣、小倉国務大臣、河野国務大臣、鈴木財務大臣、野村農林水産大臣、林外務大臣、永岡文部科学大臣、西村経済産業大臣、加藤厚生労働大臣、松本総務大臣、斉藤国土交通大臣、高市国務大臣、岡田国務大臣、磯崎内閣官房副長官、山田外務副大臣、木村防衛大臣政務官、長峯経済産業大臣政務官、杉田総務大臣政務官、政府参考人、国立国会図書館当局及び参考人全国靈感商法対策弁護士連絡会・東京共同法律事務所弁護士木村壮君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

福山哲郎君（立憲）、塩村あやか君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、徳永エリ君（立憲）、福岡資麿君（自民）、森屋宏君（自民）、堀井巖君（自民）

○令和4年12月1日（木）（第6回）

— 総括質疑 —

○令和四年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）

令和四年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）

以上両案について岸田内閣総理大臣、西村経済産業大臣、加藤厚生労働大臣、鈴木国土大臣、西村環境大臣、浜田防衛大臣、斉藤国土交通大臣、永岡文部科学大臣、河野国務大臣、後藤国務大臣、松本総務大臣、小倉国務大臣、林外務大臣、伊佐厚生労働副大臣、竹谷復興副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石川博崇君（公明）、新妻秀規君（公明）、高木かおり君（維新）、青島健太君（維新）、柳ヶ瀬裕文君（維新）、伊藤孝恵君（民主）、田村智子君（共産）、山本太郎君（れ新）、浜田聡君（N党）

○令和4年12月2日（金）（第7回）

— 集中審議（外交等現下の諸課題）・締めくくり質疑 —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○令和四年度一般会計補正予算（第2号）（衆議院送付）

令和四年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）

以上両案について岸田内閣総理大臣、西村経済産業大臣、岡田内閣府特命担当大臣、加藤厚生労働大臣、鈴木財務大臣、齋藤法務大臣、永岡文部科学大臣、河野内閣府特命担当大臣、林外務大臣、浜田防衛大臣、松本総務大臣、西村環境大臣、斉藤国土交通大臣、豊田国土交通副大臣、杉田総務大臣政務官、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁雨宮正佳君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

・集中審議（外交等現下の諸課題）

〔質疑者〕

高橋はるみ君（自民）、熊谷裕人君（立憲）、岸真紀子君（立憲）、上田勇君（公明）、浅田均君（維新）、上田清司君（民主）、山添拓君（共産）、天畠大輔君（れ新）、浜田聡君（N党）

・締めくくり質疑

〔質疑者〕

福島みずほ君（立憲）、串田誠一君（維新）、磯崎哲史君（民主）、紙智子君（共産）、山本太郎君（れ新）、浜田聡君（N党）

（令和四年度第2次補正予算）

賛成会派 自民、公明、民主、N党

反対会派 立憲、維新、共産、れ新

○令和4年12月10日（土）（第8回）

○予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。